

## 岐阜市立三里小学校で高校生と一緒に防災講座を行いました

令和6年10月8日（火）、岐阜市立三里小学校で5年生128名に防災講座を行いました。今年4月から当研究所が防災について教えてきた岐阜総合学園高等学校環境テクノロジー系列2年生26名の生徒が先生となって、伊勢湾台風・昭和51年9.12豪雨災害など過去の水害や事前の備え、高潮・堤防決壊の実験などの説明を行いました。

講座では、高校生らしくクイズや問題を出したり、わかりやすく一生懸命に伝え、児童も熱心に興味深く聞いていました。また、ペットボトルを使った竜巻や雲をつくる実験では、高校生と児童が親しみながら交流する姿も見られました。

最後に児童から高校生へ「水害にあったことはありますか?」「何を備えていますか?」「どれくらい勉強しましたか?」など多くの質問があり、高校生が回答しました。講座終了後のアンケートによれば、「高校生の話を聞いて興味を持てたし、早く避難しないといけないと改めて思いました。」「高校生に教えてもらったことを家とか学校で生かしたいです。」「高校生の話を聞いて、わかりやすくてさすがだと思った。水害についてもっと知りたいと思った。」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

